



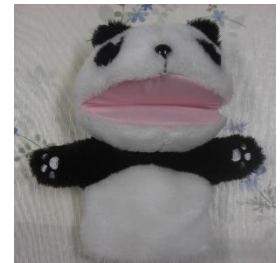
## 挨拶～「あなたがいてくれてよかった」という思いを込めて～

校長 松崎 由里子



冬の寒さが厳しかったからでしょうか、体育館の前の白梅が、蕾を膨らませているのになかなか開いてくれないことにやきもきしていましたが、先日、ようやく可憐な白い5枚の花びらを開きました。ふくいくとした香りに、春の到来を感じさせてくれます。

今年も、卒業していく6年生と、校長室でさいころトークを楽しみました。時間があるとフリートークをするのですが、何人もの子が、「パンダちゃんは元気ですか。」と聞いてきます。そして、校長室の金庫の上にちょこんと座っているパンダのパペットを見て、にっこりするのです。鳥小の子どもたちに大人気のパンダちゃんですが、実はこのパペットは、副校長をしていた前任校の養護教諭に、校長としての採用が決まったので、入学式で1年生に分かりやすく話す方法を相談したところ、その先生が昔使っていたからと、きれいに洗濯してプレゼントしてくださったものなのです。私の大切な宝物です。そして、偶然にもその時、新1年生の不安な子どもたちへのお勧めとして、西村敏雄作『ねえねえ パンダちゃん』という絵本が、新聞で紹介されていました。はずかしがりやのパンダちゃんは、何を言われても、もじもじ。なかなかお友達ができないのですが、おなじはずかしがりやのうきぎちゃんと出会うことで、安心していろいろなお友達と遊べるようになる、というお話です。これにヒントを得て、私の相棒「パンダちゃん」が誕生しました。パンダちゃんは挨拶が苦手、いつももじもじしちゃうけど、お友達を作りたいから、挨拶頑張っているよ。だから、みんなも、苦手なことがあっても大丈夫。という思いを込めています。



(前略) 校長先生は、朝みんなにあいさつをするため、正門に立っています。いつも「みんなに会えてうれしい」「よく来てくれた」や「あなたのことが大切だよ」などいろいろな思いであいさつをしているそうです。

さらに、校長先生は、パンダちゃんを使ってあいさつがにがてな子にもあいさつをがんばってくれるようにと思っ「あいさつは大切」ということを教えてくれているそうです。

このように、鳥小のあいさつには、いろいろな思いがこめられています。わたしは、あいさつをするときにいろいろな思いをこめてしたいです。新一年生のみなさん、あいさつをすることで友だちがたくさんできます。新一年生が入学するのを楽しみに待っています。

4年生が、国語の学習で、新1年生の保護者に向けて鳥が丘小学校を紹介するリーフレットを作りました。私への「どんな思いで挨拶をしていますか」という質問に答えたところ、真剣にメモを取る姿がありました。そして完成したリーフレットが左のものです。私が伝えたかったことを的確にとらえてくれていて、とても嬉しく思いました。

令和4年度も残すところあと一か月余りとなりました。ようやく、一年間通して学校教育活動ができたこと、そして、たくさんの地域、保護者の方に支えていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。